



キャットミュージックカレッジ専門学校 専門課程

# 2024年度 自己評価報告書

(基準日2025年3月31日)



学校法人 大阪創都学園

「職業実践専門課程」認定校

キャットミュージックカレッジ専門学校

## 学校関係者評価委員会 議事録

■開催日 2025年09月9日(火)

■開催時間 13:30～15:00

■開催場所 キャットミュージックカレッジ専門学校 学生会館 303

### ■出席者

三原淑治 エム・アイ・プランニング株式会社 代表取締役 ※委員長

東龍太郎 科学技術学園高等学校 通信課程大阪分室長

美根宏史 (学校長)

井原延治 (副校長)

白藤浩史 (教務主任)

城将敏 (学校法人大阪創都学園事務長)

## ○キャットミュージックカレッジ専門学校 2022年度自己評価における評価項目の達成及び取組状況

### ■進級率の向上

2年生の卒業率については、昨年度対比で6ポイント減少。特定のコースではなく、各コースから退学者が出てしまっている状況。卒業後の状況ともリンクすることから個別状況をしっかり確認したうえで対応を進めたい。1年生の進級率においては目安としている進級率90%をクリアできた。引き続き入学者の中には個別のケアが必要な学生の入学者が増えしており、より一層の個別の状況把握に注力していきたい。

(令和6年度進級/卒業率 進級：90.3% 卒業：91.9% 令和5年度進級/卒業率 進級：90.5% 卒業：98.8%)

### ■出席率と学生状況の把握

授業への出席率に関して、昨年度対比で1年生は2.1ポイント減少。2年生についても1.1ポイント減少。両学年ともに減少という状況となった。メンタル面を含めた体調不良による欠席者も増加傾向にあるので、個別の状況を踏まえて保護者とも連携を取りながら指導にあたっていきたい。引き続き、定期的な学生面談は基より、個別の学生の状態に気を配り、状況の把握に努めていきたい。

(令和6年度年間平均出席率 1年：88.6% 2年：86.2% 令和5年度年間平均出席率 1年：90.7% 2年：87.3%)

### ■就職率の向上

求人票の受領件数はやや減少傾向にあるが、早期到着分は前年と変わらず、音楽技術学科においては1年生の3月から就職活動を意識してきた学生は概ね進路を決定している。年々募集時期が早まる中、早期対応の重要性が増している。ダンス学科では「インストラクターオーディション」の実施や授業内での自己PR・面接対策が効果を上げ、複数名のインストラクター採用へとつながっている。アーティスト志望の学生については志向に変化が見られ、ミュージシャン系では演奏力を武器に活動をするだけでなく、クリエイター志向を持つ学生も増加している。また弾き語り系では、インターネッ

ト上で活躍するシンガーの影響を強く受ける学生が多く、実習での自由演奏曲でもメジャー以外の楽曲を積極的に選ぶ姿勢が確認された。

## ○自己評価報告書実施概要についての説明

・昨年に関する自己評価報告書を精査、特筆すべき内容を説明

### 教育理念・目的・人材育成像

1-5

・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか（自己評価4/変更なし）

各学科の連携企業と協力し、「教育課程編成委員会」を設置している。委員会においては学内の現行カリキュラムと業界の動向のすり合わせを行い、業界のニーズに適合した人材育成が行える取り組みを行っている。その中で次年度総合学科の3年制移行についてもご意見をいただきながら進めていっているところである。

### 学校運営

2-11

・教育活動に関する情報公開が適切になされているか（自己評価4/変更なし）

WEB サイトにてPC、スマートフォン、それぞれに最適化された形で情報が閲覧できるように公開されている。特に行事報告等の最新情報については各 SNS を活用して情報公開を行っている。

### 教育活動

3-18

・関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか（自己評価4/変更なし）

・近年のエンタテインメント業界の変化に対応できるようにさらにカリキュラム等についての見直しや変更を行っていきたい。次年度の総合学科の3年制への移行については学習内容の見直しや業界企業との連携を見据えた内容として取り組むこととしている。

### 学習成果

4-32

・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか（自己評価4/変更なし）

業界で活躍する卒業生たちとは良好な関係を築いていっており、そのネットワーク構築を拓げている。彼らからの協力を得てセミナーやクリニック、特別授業の場を設け、在校生への学びの場を提供している。

### 学生支援

5-37

・保護者と適切に連携しているか（自己評価4/変更なし）

精神的な不調や人間関係の不適応を原因として登校できなくなるケースが増えつつある。担任が主体となり、保護者と情報共有しながら指導を進めている。また、懇談を定期的に行い情報共有の場を設けている。

## 教育環境

6-42

・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか（自己評価4/変更なし）。

企業と連携した学外実習においては、実施状況がコロナ禍前の状況に戻っているが、海外研修においては実施を見送る状況が継続している。

財務/法令等の遵守（自己評価4） 城事務長より

## 社会貢献・地域貢献

10-58

地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか（自己評価3）

行事等における学校校内の公開は行っている。なお、先述した関連スクール「キャットエンタテインメントスクール」の活動等を通じて、地域等への講座の開設を行っており、受講者に近隣の方も見受けられるようになっている。さらに、この取り組みを続けていきたい。

11-59

・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか

オープンキャンパス等への参加も増えてきている。日本語学校への訪問や指定校推薦制度の導入などの準備を進めている。また、グループ校では「日本語学科」の設置を準備中。

## ■学科報告（別紙様式4表より意見の活用状況）

### 総合学科

#### 総合音楽専攻

・指導方針をミュージシャン系に寄せていることもあり、ミュージシャン系の学生と交流の機会も増え、一緒に音楽活動を行う者が出ている。

<学校関係者評価委員会からの意見の活用状況>

ミュージシャン学科と同様

#### 総合スタッフ専攻

・ほとんどが業界へ就職する事ができており、幅広く技術スタッフの分野を学んでいる特性が出ていると思う。イベント

での配信が増え、映像分野を学んでいることから映像スタッフとして活躍する機会が多く、たくさんの現場経験を積む事ができた。

<学校関係者評価委員会からの意見の活用状況>

音楽技術学科と同様

### ミュージシャン学科

- ・コロナの影響も脱し、エンタメ業界は著しい変化が見られている。イベントやオーディションなども様々な形式で開催されており、随時学生に案内して積極的なチャレンジを促している。
- ・2024年3月に複数のプロダクションと連携して新たな学内オーディション企画を実施。卒業後、アーティスト活動を続けていくためのきっかけづくりを目的とし、イベント出演や育成など、具体的な動きへ発展するケースも多く見られた。

<学校関係者評価委員会からの意見の活用状況>

意見：コロナも収束しつつあるので、外国人アーティストによる特別授業を実施してはどうか

活用状況：以前と比べてタイトなスケジュールでの来日となるケースが増えているため、実施しにくい状況ではあるが、外国人アーティストのライブ鑑賞などを行事に組み込んで対応している。

### ダンス学科

- ・学外よりゲストダンサーを招いた特別授業を定期的実施している。2024年度はコロナ明け初となる海外ダンサーの特別授業も実施した。
- ・卒業生の進路としてはインストラクター、テーマパークなど。2023年度はUSJキャラクターで2名が現役合格できている。
- ・オリンピックや万博などの影響で業界が大きく動く可能性があるため、今後のダンスシーンの動向に注視していきたい。

<学校関係者評価委員会からの意見の活用状況>

意見：行政も徐々に音楽フェスを立ち上げ始めているが、そういったイベントにも参加していくのが良いのではないか。

活用状況：外部企業のダンスイベントに観戦・出演する他、周辺地域イベントでのダンスショーケース出演など、行政イベントにも参加する計画を進めている。

### 音楽技術学科

- ・学外のフェス等へのスタッフ参加はコロナ前の状況に戻っており、予定していたイベントにはすべて参加することができた。
- ・昨年に引き続き、求人数は大きく増加し、基本給を上げている企業も多かったが、地元志向、フリーランス志向の学生や就職活動に消極的な学生が散見された。

<学校関係者評価委員会からの意見の活用状況>

意見：音楽業界以外への就職希望者への対応はどのようになっているのか

活用状況：音楽、エンタテインメント業界への進路を希望するものが大きな割合を占めているが、一般就職の希望者があれば個別に指導をして対応する。また、アーティスト活動に理解のある製造業や派遣業の会社からの求人もあるので、就職しながら音楽やダンスの活動を継続するケースも増えてきている。